

CAREER INTERVIEW

福祉・介護職員のキャリアインタビュー



高齢者福祉施設
社会福祉法人 協同福祉会
あすなろホーム富雄
喜多 祥継さん 施設長 (入職6年目)

20代という若さで施設長に。いつも前向きな姿勢で施設をまとめる!



—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

高校では農業を学び、大学では経済学を専攻していたので、「福祉・介護」について学んだことはありませんでした。大学在学中に友だちに誘われ、高齢者福祉施設でアルバイトをした時、初めてこの仕事にふれました。その時、職員さんが利用者さんに寄り添う姿を見たり、「仕事に対する考え方」を指導していただく中で、人の役に立てる仕事に魅力を感じ、この道に進みたいと思うようになりました。

—施設長になるまでの経緯を教えてください。

最初はデイサービスを担当し、3年後にデイサービスの管理者に就くことになりました。その後、半年間「定期巡回」の主任として働き、昨年の9月、施設長に任命されました。とても驚きましたが、自分自身が一生懸命やってきた仕事を認められたことは素直にうれしかったです。「任されたからには頑張ろう」と思い、この1年間、必死に仕事をしました。

—施設長として、大変なことはありますか？

この施設には職員が60名ほど在籍していますが、4分の3は自分より経験が上の方です。遠慮してしまう部分はありますが、施設長として、「決める事はしっかり決める」という姿勢は大事にしています。も

ちろん、職員さんに対してアドバイスを求めることもありますが、できるかぎりコミュニケーションを取るように心がけています。

—「働きやすい環境づくり」については、どのような考えをお持ちですか？

「残業はしない」「休みを取りやすい」雰囲気づくりは進めたいと考えています。この仕事は、休みの日でも急に出動をする日があるので、その代わりの休みは必ず取れるような工夫も行っています。有休を含め10日連続休を取ることができる「ハッピーホリデー制度」も、職員の働く意欲の向上につながっています。

—学生へのメッセージをお願いします。

自分自身、学生時代は「福祉・介護の仕事」についての勉強はしていませんでしたが、入職して数年で責任ある仕事を任せられています。仕事をしながら資格の勉強ができますし、自分の頑張り次第でどんどんステップアップできるという点もこの仕事の魅力だと思います。少しでも興味があれば、ボランティアやイベントなどでこの仕事にふれてみてください。

PICK UP! **お仕事年表**
Work chronology

- 20歳 大学在学中に高齢者福祉施設でアルバイト
- 22歳 社会福祉法人 協同福祉会に入職
- 25歳 デイサービスの管理者に就任 介護福祉士の資格を取得
- 27歳 「あすなろホーム富雄」の施設長に就任
- 27歳 ケアマネージャーの資格を取得



あすなろホーム富雄
車椅子型ショートステイとデイサービスが併設された施設。通いや泊まりの連携を行い、なじみのある地域で最期まで暮らせるための支援を行っています。
奈良県奈良市鳥見町3-11-1
TEL.0742-53-1165 FAX.0742-51-1185

PICK UP! **お仕事年表**
Work chronology

- 18歳 4年制大学の食物学科に進学
- 22歳 栄養士の資格を取得 高等専修学校の家庭科教員として勤務
- 24歳 管理栄養士の資格を取得
- 29歳 社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会に入職
- 38歳 育児休暇を取得
- 42歳 2年間の育児短時間勤務を経て、フルタイム勤務に復帰



やすらぎの丘 たちどろワークス
「生活介護事業」、「就労移行支援事業」、「就労継続支援B型事業」という3つの日中系事業を行っています。利用者6~7名と複数職員が1つの単位となるように少人数体制をとり、きめ細やかな支援を行っています。
奈良県高市郡高取町観音寺1382
TEL.0744-52-1001 FAX.0744-52-1002

「育児休業制度」を活用して復帰。好きな仕事を続けられることに感謝!



—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

大学では、生活に身近な「食」に関して学びたいと思い、食物学科に進みました。卒業と同時に「栄養士」の資格を取得し、2年間、高等専修学校の家庭科の教師として働きました。その間に「国家資格である管理栄養士の資格を取りたい」という思いが芽生え、退職をして勉強に打ち込み、資格を取得しました。その後、管理栄養士の募集をしていたこの施設に就職することになりました。

—結婚・出産を経て、復帰された理由を教えてください。

出産を機に仕事を辞めるという選択肢がある中で、私は育児休業制度を利用しました。この制度のおかげで、休んでいる期間は「同じ職場に復帰できる」という安心感を持って、子育てに専念できました。この施設では、私以外にも現在、女性職員3名がこの制度を利用して、出産を機に退職することなく仕事を続けています。

—「仕事」と「子育て」は、どのように両立しているのですか？

復帰してからの2年間は、午前9時から午後4時までの「育児短時間勤務制度」を利用して働きました。そ

の期間で、子育てと仕事を両立できるように心と体を慣らすことができました。現在は通常のフルタイム勤務で、体力的にどんな感じの時もありますが、家族の支えや理解のおかげでこなせています。

—この仕事の魅力・やりがいは何ですか？

利用者が毎日の食事を楽しみにしてくれたり、おいしそうに食べて完食してくれた時はとても喜びを感じます。食事をしている時の笑顔や楽しそうな様子を見ると、「この仕事に就けてよかったな」と思います。また、栄養のバランスを考えてつくる毎日の食事によって、生活習慣病の改善が見られた時は、なおさらうれしいです。

—学生へのメッセージをお願いします。

私は「生活に身近なことを学びたい」という事柄から仕事について考えることで、自分のやりたいことが見つかりました。「向いていない」と自分の先入観で決めずに、どんなことでも見たり、体験してみてください。



障害者福祉施設
社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会
やすらぎの丘 たちどろワークス
木村 順代さん 管理栄養士 (入職14年目)



高齢者福祉施設
社会福祉法人 協同福祉会
あすなろホーム桜井
植田 恵美さん 施設長(入職15年目)

女性ならではの目線で施設を運営。「福祉・介護」はクリエイティブな仕事。

—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

高校の進路指導の先生のアドバイスがきっかけで、福祉の専門学校に通うことを決めました。実習では大変さを感じましたが、利用者さんに「ありがとう」と言ってもらったことがうれしくて、「この仕事に就きたい」と思うようになりました。

—この仕事の魅力・やりがいは何ですか？

人と人が関わる仕事なので、「1+1が2になる」わけではありません。難しさはありますが、行動してみれば、すぐスタッフと話し合っ、別の対策を考えたりします。自分たちでアイデアを出して、進められる「クリエイティブ」な仕事だということも知っています。

—これからの目標を教えてください。

「安心して暮らせるまちづくりの一つ」として、サービスを充実し、さらに地域の方々を知っていただきたいです。また、職員同士が感謝の言葉をかけ合ったり、相談し合える関係を築ければ、より働きやすくなると思うので、そのための取組も行っていきたいと思っています。

—学生へのメッセージをお願いします。

何事も一度失敗をすると、次に挑戦することが怖くなりますが、私は「失敗」はどんどんすべきだと思っています。「ミス」はやるべきことを怠った時に起きるので、「失敗」はトライして、結果が伴わなかった時に起きるものだと考えています。学生の皆さんには、何事にも「トライ」をしてみてください。



あすなろホーム桜井
病室や障がいなどで生活に困難を抱えた人たちが、共同で生活する「グループホーム」として開設。笑顔のある日常を提供することをめざしています。
奈良県桜井市東原900
TEL.0744-43-4165 FAX.0744-43-4168

「短時間勤務」で仕事と子育てを両立。人と深く付き合えるのが、この仕事の魅力。

—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

小学生の頃、「ろう学校」の皆さんと関わる機会がありました。その時間が楽しかったことがきっかけで、将来は福祉の仕事がしたいと思っています。大学で初めて福祉について学びました。ボランティアサークルの活動を通じて、知的障害者の方と知り合ったこともきっかけの一つです。

—結婚・出産を経て、復職された理由を教えてください。

社会人1年目からこの施設に4年間勤めて、結婚を機に退職し、4人の子を出産しました。もともと働き続けたいと思っていたので、他業種で働いたりもしました。でも、その職場で専門性のある仕事をする方を見た時、「福祉の現場に戻りたい」と思い、復職を決めました。

—「仕事」と「子育て」は、どのように両立しているのですか？

現在、私は週32時間の「育児短時間勤務制度」を利用しています。子どもの行事などに合わせて、「午前のみ」「お昼に中抜けする」など、パターンはいろいろです。家族の協力はもちろんですが、この制度のおかげで正職員として復帰できたので感謝しています。

—学生へのメッセージをお願いします。

一番の魅力は、多くの人と深く付き合えることです。利用者が笑顔になってくれたり、ご家族から感謝の言葉をいただく時は特別な喜びがあります。学生の皆さんにも、福祉・介護の施設だけに限らず、さまざまな仕事や人にふれる機会を大切にしてみてください。



相談支援事業所「りあん」
障がいのある方やそのご家族はもちろん、地域の方々との「つながり」を深め、相談支援事業を通して誰もが住みやすい地域づくりに取り組んでいます。
奈良県高市郡高取町観音寺1382
TEL.0744-52-1001 FAX.0744-52-1002



障害者福祉施設
社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会
相談支援事業所「りあん」
北 好美さん 相談員(入職3年目・通算7年目)



障害者福祉施設
社会福祉法人 ならやま会
にじいろ
竹内 雅人さん 施設長(入職14年目)

共働きをしながら子育てをうまく分担。自ら先頭に立ってチームプレーを実践。

—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

「やりがいを感じられる福祉の仕事について学びたい」と思い、大学では社会福祉を専攻しました。障害者支援施設へ実習に行った時に、生活の中に喜びや感動をえる利用者さんの姿を見て、障害者の方を支援する仕事に就こうと決めました。

—「男性の子育て」については、どのような考えをお持ちですか？

私たちが夫婦はフルタイムの共働きで、「子育てはうまく分担していかないといけない」と思っていたので、子どもが生まれる時は私自身も育児休暇を取りました。妻が仕事を休めない場合は、私が仕事の調整をして、時間単位の有給休暇なども使いつつ、協力し合って子育てをしています。

—この仕事をやる上で大切にしていることは何ですか？

スタッフの意見が食い違うこともありますが、常に「利用者さんにとって、より良いサービスは何か」をこたん話し合っ、チームで仕事をしていくことを大切にしています。利用者さんが「生活する力をつけていく過程」で、喜びをみんなで共有できた時にこの仕事のやりがいを強く感じます。

—学生へのメッセージをお願いします。

福祉・介護の仕事は、「介助すること」ばかりがクローズアップされますが、「利用者さんと一緒に楽しむ時間」もたくさんあります。楽器が得意なら、音楽で楽しませることができると、絵が得意なら、一緒に絵を描いてもいいし、「自分の特技を生かせる仕事」だということも知ってもらえたらうれしいです。



にじいろ
アットホームな生活空間の中で、様々なニーズに対応した活動を中心に、利用者の生きがいづくりをお手伝いできるような生活介護事業所をめざしています。
奈良県奈良市石木町715-1
TEL.0742-51-7549 FAX.0742-51-7547

数々のアルバイト経験を経て、福祉の道へ。仕事も育児も充実した毎日。

—なぜ、この仕事に就こうと思ったのですか？

高校卒業後の4年間は、さまざまなアルバイトを経験しました。「そろそろ手に職をつけたい」と思った時に、目に止まったのが福祉系の専門学校の存在でした。私の身近に障害者の方がいたのも、この仕事への抵抗もなく、入学時には「この道で頑張りたい」と思っていました。

—「男性の子育て」については、どのような考えをお持ちですか？

妻は変則的な勤務の仕事をしているので、「助け合って子育てをする」というのが夫婦の目標です。子どもが病気になるか、学校や保育園に行けない時に休暇を取れる制度が、今の職場にはあるので3人の子育てを問題なくできています。

—この仕事の魅力・やりがいは何ですか？

利用者さんは、少なからず社会的な生きづらさを抱えています。それを少しでも和らげて、「支え」になりたいと思っながら仕事をしています。長い期間、利用される方も多く、一人ひとりの人生に深く関わって支援することができるのもこの仕事の魅力の一つだと思います。

—学生へのメッセージをお願いします。

責任が重い分、やりがいのある仕事で、ポジティブで楽しいことが好きな方は向いていると思います。各事業所でボランティアを募集しているし、地域と一体となったイベントを行っているので、ぜひ現場を見に来て体験してみてください。



わかさ園
パソコンや手織り、工芸、陶芸などの活動を通して、地域や社会との交流を深めながら、利用者一人ひとりが笑顔で過ごせる毎日を目指しています。
奈良県奈良市奈良町2532-3
TEL.0742-27-5150 FAX.0742-27-5160



障害者福祉施設
社会福祉法人 ならやま会
わかさ園
濱田 奏樹さん サービス管理責任者(入職6年目)